

多様性を認める「主体的」「社会的」な態度 G. ビースタの教授学習論2

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

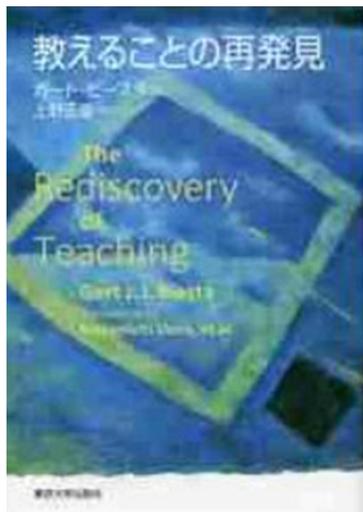
※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。



ビースタ, G. (著) 上野正道・藤井佳世・中村(新井)清二 (訳) (2014). 民主主義を学習するー教育・生涯学習・シティズンシップー 勁草書房

- プロローグ 学校と社会のなかで学習する民主主義
- 第1章 シティズンシップの教授から民主主義の学習へ
- 第2章 カリキュラム・シティズンシップ・民主主義
- 第3章 ヨーロッパのシティズンシップと高等教育
- 第4章 知識・民主主義・高等教育
- 第5章 知識経済における生涯学習
- 第6章 学習する民主主義に向けて
- 第7章 市民としての学習を理論化するー社会化・主体化・無知な市民
- エピローグ 民主主義・シティズンシップ・公共圏

一人一人が政治的主体となるために。
民主的なシティズンシップを形成するための、学習のありかたを探究する。
民主主義の教育を、より広い日常生活の実践プロセスから再構築する試み。



ビースタ, G. (著) 上野正道 (監訳) (2018). 教えることの再発見 東京大学出版会

No271

G.ビースタの教育論 1

教えることの再発見

教えること(teaching)」を教育
で軽んじてはいけない！



溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

ポイント

(訳者解説から)

「ビースタから見れば、今日なされているシティズンシップ教育・政策の多くは社会化にかかわることである。そのため、シティズンシップ教育・政策は、まずまず消費者としての私的な動機を前提とするような考え、学習を個人の能力へ還元する傾向を強め、個人主義化を加速させている。ここで看過されてしまっているのは、主体化にかかわることである。たとえば、シティズンシップ教育においてよきコミュニティの参加者であることは強調されるが、民主主義を成り立たせている政治的な主体であることを重視することがあまりなされていないことである。(中略) (ビースタにとっての) 政治とは、複雑性と差異によって特徴づけられるような領域のことを指している。」 (p.241)

No271

G.ビースタの教育論 1

教えることの再発見

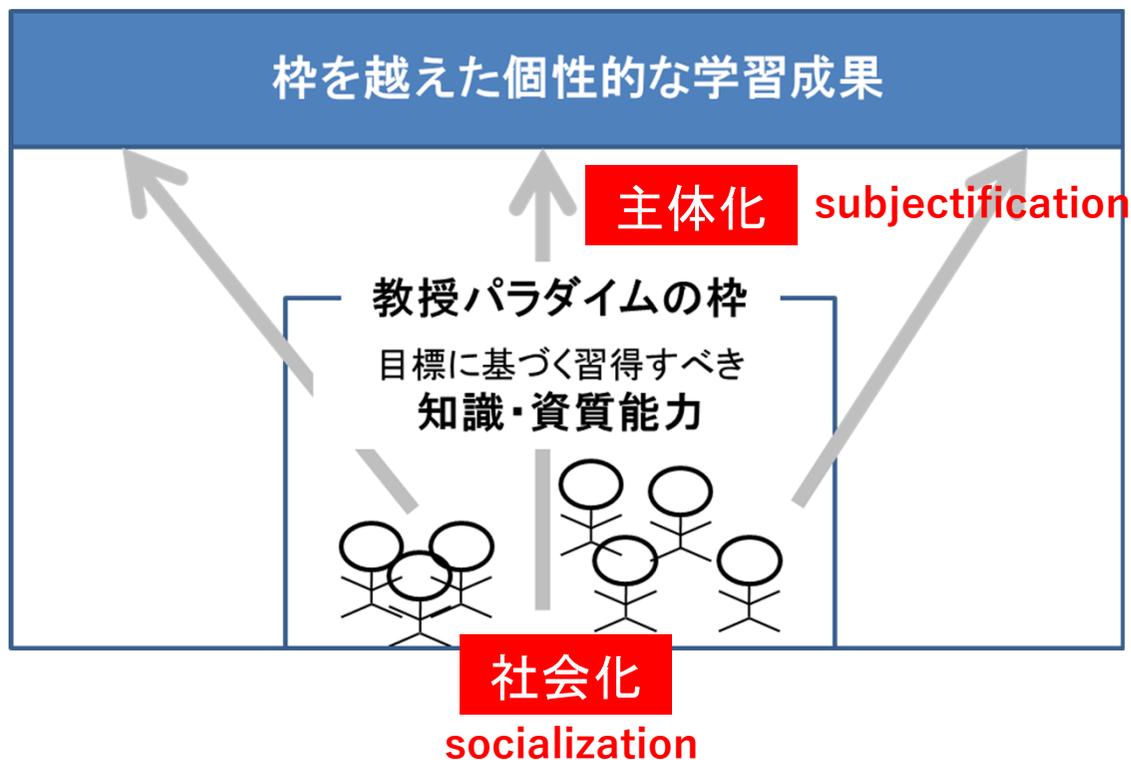
教えること(teaching)」を教育
で軽んじてはいけない！



溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

教授パラダイムから学習パラダイムへの転換

学習パラダイム



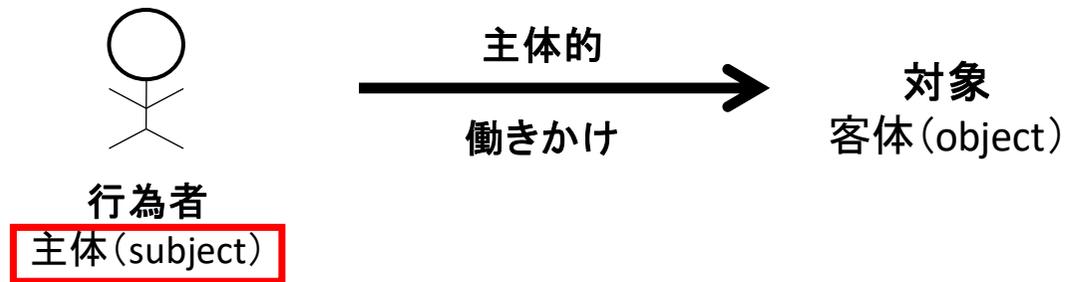
政府の施策との関連

- 学士課程答申（2008年）、平成28年答申（学習指導要領改訂）（2016年）
「何を教えるか」だけでなく
「何ができるようになるか」も
- [高等教育]グランドデザイン答申（2018年）
「何を教えたか」から
「何を学び、身に付けることができるのか」への転換

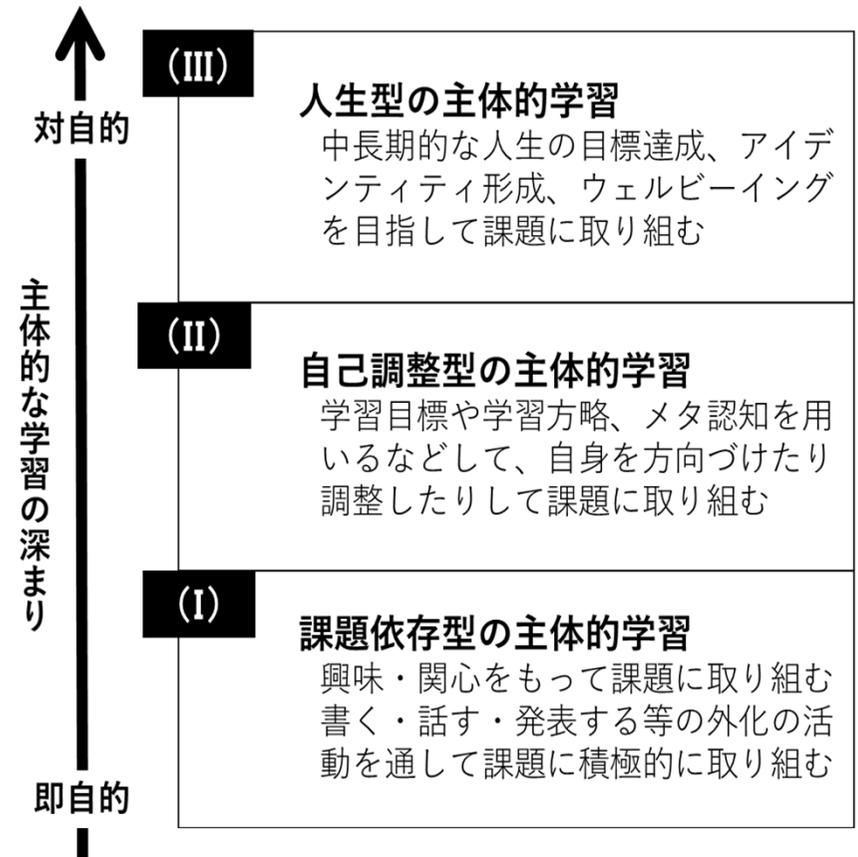


主体的な学びとは

「行為者（主体）が対象（客体）にすすんで働きかけるさま」（『日本国語大辞典（第2版）』）



＜主体的な学び＞（新学習指導要領）
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動をふり返って次に繋げる学び。



・ 溝上慎一（2020）．社会に生きる個性—自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー— 東信堂

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

